

～ 家族で農業経営に取り組んでいます ～
仲神 正樹さん(伊予市)

伊予市青年農業者協議会
(愛媛県青年農業者連絡協議会長：平成24年度)
JAえひめ中央農業協同組合青壮年部
1986年生まれ



☆経営概況☆

施設園芸としてなす20a、きゅうり10a、露地野菜としてレタスやきゅうりを栽培するほか、水稲500a、麦400aを栽培しています。

労働力は、妻と父、母の4人。家族経営協定を締結し、家族労働力で完結できる経営を行っています。

☆ここがポイント☆

■販売戦略

複数の販売チャンネルを持っており、消費者の声に応じた販売に努力しており消費者の声を聴くようにしています。

■朝食前の収穫作業

野菜は早朝に収穫し新鮮さを維持させています。繁忙時は収穫が午後までかかることもありますが、こだわりの商品づくりを心がけています。

■ゆっくりとした昼休み

朝が早い分昼休みは最低2時間前後取るようにしています。昼食後にはできれば昼寝をするようにして、午後からの作業に集中して取り組めるようにしています。

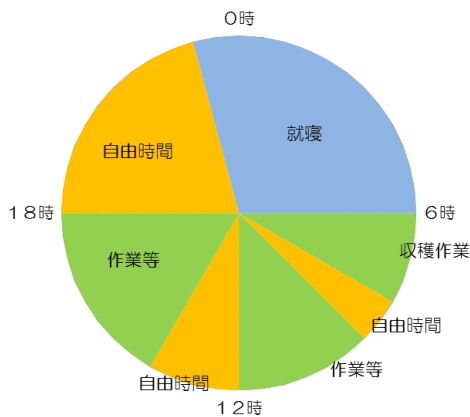


なすのホルモン処理



大型コンバインで水稲収穫

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

プライベートな時間は趣味のゴルフやマラソン大会への出場などでリフレッシュに努めています。

また、年に1回は家族で1泊2日程度の小旅行も楽しみの1つです。

現在は1児（もうすぐ2児）の父親として仕事と家庭生活の両立ができるようにメリハリをつけて頑張っています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】						
← 収穫・出荷（水・金・日）、栽培管理 →						
【普通期】						
← 栽培管理 →						→ 休日 →



家族で七五三のお参りへ



青年農業者の仲間と農産物直売

☆これからの夢や目指すもの☆

継続していかなければならない仕事（産業）と捉えて農作物栽培に取り組んでいます。地域全体を見れば農業従事者の高齢化が進んでおり地域農業の衰退が心配です。若い世代が「農業をやってみたい」と思えるような見本となる経営を目指しています。

☆メッセージ☆

農業は自然相手で、自分の思い通りに行かないことが多くありますが、思い通りの栽培が出来たときに達成感を感じます。毎年、異常気象と言われるくらい栽培環境が変化しており日々勉強の連続ですが、やりがいのある仕事です。